



2008 UTO

宇土市勢要覽
熊本県宇土市



心ゆたかな環境創造の

発刊にあたって



熊本県宇土市長

田口 信夫

本市は、熊本県のほぼ中央部、熊本平野の南端に位置し、国道3号と57号との分岐点、JR鹿児島本線と三角線との分岐点にあたり、県都熊本市と県南地域・天草地域とを結ぶ地理的要衝の地にあります。

古くから栄枯盛衰の場となり、近世ではキリシタン大名として有名な小西行長が居城を構え、江戸時代には細川藩の支藩として栄え、今でも当時の歴史遺産が、私たちの生活の中に脈々と受け継がれています。

そして、本市は平成20年に市制施行50周年の記念すべき年を迎えました。温故知新の言葉のとおり、先人たちが築いてこられた郷土・歴史を大切にしながら、次の半世紀への更なる飛躍のステップの年にすべく、様々な事業を行ないました。

その中で、まちづくりは人づくりである。昔から言われていることではありますが、この原点に立ち返り、市制施行日である10月1日を「教育の日」と定め、郷土を愛する心、思いやりの心、豊かな心を持った世界に羽ばたく人材の育成を目指す『教育立市宣言』を行ないました。

昔から「文教の里」と言われてきた宇土の地で、市民一丸となった教育そして文化への取り組みを行ないながら、後期基本計画に定める『定住と交流都市』の実現を目指していきたいと考えております。

最後に、この市勢要覧が、新たな一歩を歩き始めた宇土市を理解していただくために、少しでもお役にたてれば幸いに存じます。

- 平成7年 3月 健康福祉館「あじさいの湯」オープン
10月 「県民文化祭宇城」開催
- 平成8年 3月 宇土市保健センターオープン
4月 「うと花園桜まつり」スタート
7月 網田焼の里資料館オープン
御輿来海岸が「有明海・砂干潟」とし
「日本の渚・百選」に選定
- 平成9年 1月 宇土合同庁舎(税務署・法務局)が完成
7月 同報系防災行政無線開局
- 平成10年 1月 資源ごみの分別収集(6種類)を開始
上天草・宇城水道企業団が発足
2月 宇城広域連合が発足
3月 宇土・富合清掃センターの
ごみ焼却処理施設が完成
4月 4代目市長に田口信夫氏が就任
10月 市制施行40周年となる
- 平成11年 5月 宇土マリーナが完成
9月 台風18号で記録的な被害
9月・10月 第54回国民体育大会ヨット・相撲競技開催
- 平成12年 4月 13種類の資源ごみの分別収集がスタート
5月 市防災センター運用開始
- 平成13年 4月 指定ごみ袋制度スタート
5月 女性消防隊誕生
8月 全国高校総体相撲・ヨット競技開催
- 平成14年 4月 公立保育所の民間委託開始
10月 宇土雨乞い大太鼓が県重要民俗文化財に
- 平成15年 3月 市役所がISO14001認証取得
4月 生ごみのリサイクル開始
7月 アーティスト・イン・レジデンス開催
12月 うと市民債発行
- 平成16年 9月 熊本県民体育祭で女子総合優勝獲得
11月 財政健全化推進プランを策定
- 平成17年 4月 指定管理者制度スタート
8月 大王のひつぎ実験航海で大阪南港に到着
- 平成18年 4月 宇土マリーナ物産館がオープン
5月 生活安全パトロールが結成
6月 市議会において議員定数を
現行の22人から18人とする4減を可決
11月 崇城大学との業務提携を締結
- 平成19年 5月 ハワイの古代式航海カヌー「ホクレア号」が入港
9月 第62回熊本県民体育祭開催
12月 日本合成化学工業(株)が工場を増設
- 平成20年 2月 走潟地区上水道供用開始
6月 世界の紫陽花展を開催
7月 市民会館がリニューアルオープン
8月 船場川周辺で船場川浮き灯籠を実施
10月 市制施行50周年記念式典を開催
うと教育の日を制定
12月 大相撲宇土場所を開催



■県民文化祭宇城



■第54回国民体育大会



■大王のひつぎ実験航海



■宇土市制施行50周年



■大相撲宇土場所

宇土市

CONTENTS

■ 発刊にあたって	
■ イラストマップ	2
■ 観光・祭り・イベント	4
■ 福祉・保健	6
■ 環境保全、安全・安心	8
■ 都市空間、農林水産業、商工業	10
■ 文化・教育	12
■ 議会、行政・計画	14
■ 市政施行50周年事業	15
■ 宇土市のあゆみ	

UTO-CITY

特産品



メロン

有機たい肥で育てられた高級メロン。糖度、香り高く贈り物としても最適です。



海苔

日本有数の遠浅を誇る有明海では、海苔をはじめ、いか、あさりなどが採れ、磯の香りと味を満喫することができます。



デコポン

宇土半島の山々と有明海の潮風の中で育ったデコポンは、やさしい香りと甘酸っぱさが絶妙。高級柑橘として大人気です。



MAP

illustration



伝統 工芸品



宇土餅・小袖餅

宇土を代表する肥後の良質もち米を使った一口サイズの可愛い餅です。子どもからお年寄りまで人気です。



宇土の張り子

およそ100年の伝統を持つ宇土の張り子。昔ながらの手仕事で一つひとつの工程を経て出来あがる張り子は、人を引きつける素朴な魅力に満ちています。

本手打包丁

500有余年の歴史を誇る川尻手打包丁の流れをくむ伝統と新しい技術に培われた本手打の技。切味、耐久性抜群で柄腐れ防止に優れた逸品です。



地唄三味線の駒とばち

九州地唄三味線の駒とばちは熊本が発祥の地です。明治の初めに制作が始まり、今日でも受け継がれた秘法を伝承しています。

S P R I N G

春



立岡自然公園 約2千本の桜が咲き誇る県下屈指の桜の名所



菖蒲園 轟泉自然公園の一角にある菖蒲園



住吉あじさい公園 毎年、6月中旬に紫陽花マンドリンコンサートを開催



観光 祭り

豊かな自然や文化・歴史、優れた伝統工芸品など多様な観光資源に恵まれた宇土市。



マリンスポーツ 宇土マリーナでは、ヨットのほかクルージングも楽しめる



宇土大太鼓フェスティバル 毎年、8月第1土曜日開催



うと地藏まつり 約360年の歴史がある肥後三大夏祭りの一つ



マリソフェスタ 宇土マリーナで開催

変化を楽しむ

夏 SUMMER



御興来海岸 日本渚百選に選ばれた海岸



イベント

四季折々の

私たちは、より多くの人に宇土市の魅力を知っていただきたいと、情報の発信に努めています。



栗嶋神社
安産や子宝、無病息災にご利益があると言われるミニ鳥居くぐりが有名



風流島
住吉自然公園から見ることのできる無人の小島。枕草子や伊勢物語にも詠われている



船場橋（めがね橋）
文久元年に架橋され、今なお昔の面影を残す。赤味を帯びた馬門石の輪石が特徴



道の駅 宇土マリーナ
平成18年には宇土マリーナ物産館「おこしき館」もオープン



甘酒まつり
旧暦の11月申の日に山王神社で行われる。申に扮した若者たちが「ホーライホーライ」の掛け声とともに徳利を奪いあい、甘酒を掛けあいながら、無病息災を願う



大太鼓収蔵館
26基の大太鼓を収納



子育て支援

安心して子どもを産み、育てることができるよう、そして21世紀を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、地域全体で子育てを支援する体制の整備に取り組んでいます。

福祉・保健

- 未来を担う若い世代にも子育ての楽しさ、大変さを体感してもらうことを目的とした「高校生の赤ちゃんふれあい体験」



- 親子が一緒になって、気軽に楽しめる子育て支援センター



まちづくり やさしい福祉の



●介護予防サポーターを養成

高齢者・障がい者福祉

住みなれた地域社会で、高齢者や障がい者が生きがいをもって安心して暮らせるように、社会参加の拡大と生きがいづくりを推進しています。

また、共に支えあう暮らしを実現するため、保健・医療・福祉の関係機関と連携を深め、地域交流を図りながら、支援サービスの充実に努めています。



●市福祉スポーツ大会（屋内ベタング競技）

健康づくり

生涯を通して、心身ともに健康で生きがいを持ちながら、老いてもなお健やかな人生を送るために健康づくりを推進しています。

メタボリックシンドロームの抑制や食育に重点を置き、市民の自主的な健康づくりが進められるよう取り組んでいます。



●ヘルスマイト
（食生活改善推進員）
による料理教室



●日本名水百選に選ばれた「轟水源」

環境保全

環境保全

快適で潤いある生活環境を守るため、規制措置や環境啓発活動などにより、身近な生活環境の保全を進めています。また、地球規模の環境問題への対応に向けて、市民・事業者・行政が共に力を合わせ、地域での環境保全活動を積極的に実施していくとともに、分別収集の徹底や資源ごみの有効利用など、資源循環型社会の構築に努めています。

安全な生活環



●「くまもと・みんなの川と海づくりデー」



●「船場川クリーン作戦」



●小学校入学前の園児を対象に行われている「交通教室」

安全・安心

市民の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、交通事故の防止、犯罪の防止に向けた取り組みや救急体制の充実を図っています。

また、災害に強いまちづくりに向けて、災害の未然防止と災害発生時の安全確保、迅速な復旧体制の整備に取り組んでいます。

安全・安心



境のまちづくり



●地域で活躍する消防団による「消防点検」



快適な都市空間の まちづくり



●地域みんなで美しいまちづくりに取り組む
「花いっぱい運動」



●「緑の少年団によるつつじの植樹」

都市空間

都市空間

熊本県のそして九州のほぼ中央に位置する地理的条件を活かし、さらなる広域拠点性を高め、快適で利便性に富んだ都市づくりを推進するとともに、良好な居住環境の整備に取り組んでいます。

●「宇土駅西側整備完成予想図」(イメージ)



まちづくり 個性ある産業の



●「有明のり」で有名なのり養殖



●特産品トマトの収穫

農林水産業 商工業

農林水産業

本市の恵まれた自然環境を活かし、環境に配慮した農業や漁業を推進し、地域ブランドとしての特産品の開発・販売促進に取り組んでいます。

また、地産地消の強化、あるいは都市と農村の交流を深めるなどといった生産者と消費者との連携により、流通・販売ルートの拡大を推進しています。



●商店街活性化事業の一つである「うと100円商店街」



●「JR網田駅で子どもたちが地元特産のネーブルをPR」

商工業

消費者の多様なライフスタイルに応じた魅力ある商店街の形成、また、中心市街地の活性化を図るための「賑わいと個性ある人にやさしいまちづくり」を目指して、環境整備と商業の活性化に向けた一体的な推進に取り組んでいます。

地場産業については、経営の安定・市場拡大を支援し、企業間交流・異業種間交流を推進しています。



●勇壮に舞う「宇土の御獅子舞」（西岡神社大祭）

教育立市

文化・教育

古代から今日までに至るまでのさまざまな文化遺産や伝統を大切に残し、未来へ受け継ぎ発展させていくために、文化の醸成に取り組んでいます。

また、「郷土を愛する心、豊かな心を持った世界に羽ばたく人を育む」を基本理念とした「宇土市教育立市プラン」の実現に向けて、子どもたちの生きる力を育む教育、郷土の文化、歴史、人の素晴らしさを再認識できる教育環境、そして生涯教育のまちづくりを目指しています。



●「不知火型土俵入り」の創始者といわれる第八代横綱「不知火権右衛門」の墓前で第六十九代横綱白鵬が土俵入りを披露



- 豊臣秀吉の家臣として名高いキリシタン大名「小西行長」
- 国史跡として、昭和54年に指定された「中世宇土城跡（西岡台）」で発掘体験





●国際理解を深め、グローバルな人材育成を目的とする「外国語教育」



●親子がふれあいながら、感性を磨き、豊かな心を育むことを願う「ブックスタート」



●国際交流も積極的に実施



●日本の伝統文化である華道・茶道を体験する子どもたち。



●キッズサッカー

文化を育む 教育の

まちづくり





議会

現在、17人（条例定数18人）市議会議員が市民の意思を代表し、議会等で活動しています。議決機関として、市の条例や予算など、市政を進めていくうえで大切な事柄を慎重に審議し、適切な処理の方法を決め、さらなる市民生活の向上、市発展のために力を注いでいます。

■市議会の組織図



※特別委員会は必要に応じて設置

開かれた市政のまちづくり



●「市政モニター会議」市民の皆さまの意見を市政に反映させています。



●市役所庁舎

行政

地方分権が進展していく中、市民と行政が良きパートナーとしてまちづくりに取り組んでいかなければなりません。このため、情報を共有し、協力をしながら、魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

総合計画

平成18年度に、新たなまちづくりの指針となる基本計画を策定し、その主要テーマを『定住と交流都市をめざして』としました。

このテーマを実現するために、『すみたい宇土市』づくりの4つのプロジェクトを重点的に推進し、魅力あふれる宇土市をつくります。

す 進めよう! 市民参画プロジェクト

- (1) 市民による自発的なまちづくりの推進
- (2) 行財政改革の積極的な推進

市民が行政に参画しやすい環境づくりを目指します。

み 未来につなぐ 環境共生プロジェクト

- (1) 地球環境にやさしい生活の推進
- (2) 水と緑の潤いある空間づくり

豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、循環型社会への転換を目指します。

た 楽しい子育て 応援プロジェクト

- (1) 子育て支援体制の整備
- (2) 個性と豊かな心を育む教育の推進

安心して子どもを産み、社会全体で子育てをおこなうことができる環境づくりを目指します。

い 生き生き定住 交流プロジェクト

- (1) 賑わい交流拠点の整備推進
- (2) 地域産業の活性化の推進
- (3) 安全・安心のまちづくりの推進

安心で安全なまちづくりを推進しながら、交通の要衝としての利点を活かした交流拠点の形成を目指します。



●3日間で延べ6,800人の入館者があった世界のアジサイ展

●船場川に浮かぶ幻想的な浮き灯籠



●市制施行50周年記念式典で論語・孝経の素読を披露した宇土親子論語教室の皆さん

市制施行50周年事業

更なる発展に向けて

平成20年は、宇土市にとって市制施行50周年という記念すべき年にあたりました。さまざまな記念イベントに多くの市民の皆さまの参加をいただきました。



●拉致問題を考える市民の集い

●第8代横綱不知火諾右衛門の墓前（栗崎町）で横綱白鵬が土俵入り



●大盛況だった大相撲宇土場所



宇土市のあゆみ

- 昭和33年 10月 網田村を宇土町に合併 宇土市制施行
初代市長 大和忠三氏
- 昭和34年 8月 第1回市民早起き野球大会
12月 住吉中学校落成
- 昭和35年 10月 第15回国民体育大会重量拳競技を開催
- 昭和36年 5月 第1回市民体育祭開催
- 昭和37年 3月 宇土市の本町通りで大火(7戸全焼)
- 昭和38年 12月 宇土市上水道完成
- 昭和39年 10月 第1回宇土市文化祭開催
- 昭和40年 5月 市庁舎新築落成
- 昭和41年 4月 宇土市の大字を廃し町とする町名改正
12月 宇土市外9カ町村衛生施設組合し尿処理場完成
- 昭和42年 7月 宇土市老人福祉センター落成
- 昭和44年 11月 戸口町で大火、32世帯188人が被災
- 昭和45年 3月 宇土・轟の両小学校を統合し、宇土小学校落成
8月 宇土市勤労青少年スポーツセンター完成
- 昭和47年 6月 宇土市民会館落成
8月 宇土・富合清掃センター完成
- 昭和48年 4月 老人ホーム「芝光苑」落成
12月 公共下水道建設事業に着手
- 昭和49年 4月 宇城広域消防衛生施設組合スタート(10カ市町村)
- 昭和50年 3月 宇土中央線立体橋開通
12月 宇土市就業改善センター落成
- 昭和51年 2月 市立図書館落成
8月 広域火葬場「龍燈苑」完成
- 昭和52年 4月 市運動公園グラウンド完成
- 昭和53年 2月 宇土市武道館完成
- 昭和54年 4月 宇土城跡(西岡台)が国指定史跡に
学校給食センター完成
6月 向野田古墳出土遺物が
国指定の重要文化財に
- 昭和55年 5月 児童センター開館
6月 市民体育館完成
- 昭和57年 4月 2代目市長に田代捨己氏が就任
- 昭和58年 5月 福祉センター完成
6月 勤労青少年ホーム完成
9月 熊本県総合青年祭を本市で開催
- 昭和60年 7月 環境庁が轟水源を「名水百選」に認定
- 昭和61年 8月 第1回宇土大太鼓フェスティバル開催
- 昭和62年 4月 宇土東小学校開校
- 昭和63年 5月 集中豪雨でメロンなどに被害。平木橋流失
轟泉自然公園完成
- 平成2年 4月 3代目市長に西田誠氏が就任
宇土市シルバー人材センターがスタート
10月 一人暮らしのお年寄りに緊急通報システム
- 平成3年 9月 台風19号で大きな被害
11月 「大太鼓収蔵館」が完成オープン
- 平成4年 6月 住吉公園で初の紫陽花マンドリンコンサート
12月 国道3号松橋バイパスが開通
- 平成5年 4月 防災行政無線システムを導入
9月 第48回熊本県民体育祭開催
12月 市の人口3万5千人突破



■宇土市制施行式



■市制施行当初の商店街



■市民会館落成



■轟水源



■豪雨により流失した平木橋



心ゆたかな環境創造の宇土市



市の木
(きんもくせい)



市の花
(あじさい)



市の鳥
(めじろ)

2008 宇土市勢要覧

発行 平成21年2月 宇土市 編集 宇土市企画情報課 〒869-0492 熊本県宇土市浦田町51
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-4140
デザイン・印刷 シモダ印刷株式会社